

5 環境教育の充実

(1) プログラム開発の背景

本道には世界自然遺産に登録されている知床をはじめ、ラムサール条約に登録されている釧路湿原やウトナイ湖など、自然豊かな地域が多くある。これらの自然環境を守り、後世に引き継ぐためには、自然保護や環境保護に向けた具体的な行動が必要であり、子供から大人まで一人ひとりが、環境問題に関する知識だけでなく体験活動を通じて、理解と関心を深めていくことが求められている。

本道においては、平成26年に「北海道環境教育等行動計画」を策定し、道民や民間団体等と協働して、自然体験、社会体験、生活体験などを通じて、本道の環境教育や環境保全活動等一層の推進を図っていくこととしている。

このことから、道立青少年体験活動支援施設においては、施設周辺にある自然に親しみながら環境について学び、環境保全に向けて主体的に行動する態度を育成するため、地域の特色を生かし、環境教育に関するプログラムの充実を図っている。

(2) 道及び道教委の主な関連施策

・北海道教育推進計画 施策項目9「ふるさと教育の充実」

自然環境の保全に寄与する態度を養う体験活動の充実が得られるよう、実践事例の提供などの支援を行います。

・第3次北海道生涯学習推進基本構想 視点3 1(1)「環境に関する学習の推進」

北海道のよさである恵まれた自然環境についての学習や、次世代に引き継いでいく行動力を身に付けるための環境教育が必要です。

・北海道環境教育等行動計画 目指す方向

道民一人ひとりが参加し協力しながら、持続可能な社会を築いていくため、環境保全意識を持ち主体的に行動できる人づくりを進めます。

(3) 各施設実施プログラムの概要

森	われら森レンジャー	
令和3年8月7日(土)～9日(月) (2泊3日)		理科実験、林業体験、椅子作り、火起こしなど
北見	ネイパルこどもエコクラブ in summer	
令和3年8月7日(土)～8日(日) (1泊2日)		学習、野外観察、フォトブック作りなど
厚岸	たんちょう先生	
令和3年7月18日(日)～ 令和4年3月20日(日)(各日帰り)		学習、化石掘り、標本作り、工作など

ネイパルこどもエコクラブ in summer

1 事業のねらい

地域の環境資源を活用した各種体験活動等を通して、ふるさとに対する愛着心や環境保全に対する理解を深める。

2 事業の概要

- 期日 R3.8.7(土)～8(日) 1泊2日
- 対象 小学校2～6年生
- 人数 26名
- 場所 ネイパル北見、ワッカ原生花園
- 協力 佐藤喜寛氏(北海道立常呂高等学校時間講師)

3 プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8/7 (土)	受付(ネイパル北見) 9:00～9:30				開 会 式	外 来 種 駆 除 体 験	昼 食 (弁 当)	8月の花さがし in ワッカ原生花園				休 憩	夕 食 (食 堂)	ブ ッ ク つ く り	入 浴・就 寝 準 備	就 寝	
8/8 (日)	起 床	朝 の フ ィ ー ルド ワ ー ク	朝 食 (食 堂)	清 掃 点 検	ブ ッ ク つ く り		昼 食 (食 堂)	ふ り か え り	閉 会 式	解散(ネイパル北見)14:00							

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 豊かな自然を実感する体験活動の設定
 - ・網走国定公園内のワッカ原生花園を会場に、同園で長年ガイドを務めた講師による季節の花や鳥、外来種等についてのレクチャー後、自由に散策する時間を設定し、参加者が意欲的に活動し自然環境への関心を高められるようにした。
- アウトプット活動の設定
 - ・「ワッカ原生花園の素晴らしさを伝える」ことを目的に、フィールドワークで取材したことを、フォトブックとしてまとめる活動を設定し、目的意識を持たせるとともに環境保全への意識の高まりへとつながるようにした。



広いワッカ原生花園内を散策



オリジナルのフォトブック作り

5 事業の評価



■IKR 調査による変化

- ・「積極性」「明朗性」「交友・協調」が0.4P向上
- ・「自己規制」「思いやり」は僅かに低下

■参加者の声

- ・身の回りに外来種がたくさんあることを学んだ。在来種を大切にしたい。
- ・自然をずっと大切にしていきたいと思った。

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 「積極性」が向上したことから、フィールドワークやフォトブック作りを通して、進んで環境を守ろうとする意識が高まったと考えられる。
- 宿泊事業であることを踏まえ、「自己規制」が低下したことから、グループ活動や集団行動のルールの大切さを自覚して過ごせるよう、振り返りの場面を設定するなどの工夫が必要であると考えられる。



企画のポイント

アウトプットを軸とした、環境保全への意識を高めるプログラムの設定

たんちょう先生の自然体験クラブ

1 事業のねらい

地域資源を活用した様々な体験活動等を通じて、自然や環境に関する気付きや環境保全への理解を深める。

2 事業の概要

- 期日 R3.7.18(日)～3.20(日) 全9回(全て日帰り)
- 対象 小学1年生～6年生 ■人数 119名(延べ人数)
- 場所 ネイバル厚岸、釧路市こども遊学館 など
- 協力 DoTo ネット(道東科学教育支援ネットワーク)
境 智洋氏(北海道教育大学釧路校教授)、大学生

3 プログラム

回	活動日	学習テーマ	活動場所	回	活動日	学習テーマ	活動場所
1	7月18日	海岸で地層や漂着物をみよう!	釧路市岩見浜海岸	6	12月19日	クリスマスリースをつくろう!	ネイバル厚岸
2	8月15日	津波実験から防災を考えよう!	ネイバル厚岸	7*	1月16日	シャボン玉で遊ぼう! ~in ウィンター~	ネイバル厚岸
3*	9月19日	釧路の石標本をつくろう!	釧路市こども遊学館	8*	2月20日	雪のシマシマをさがそう!	ネイバル厚岸
4	10月24日	化石掘りをしよう!	阿寒シエル	9*	3月20日	夕日をつくろう!	釧路市こども遊学館
5	11月21日	木の幹の模様を写し取ろう!	ネイバル厚岸	※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止			

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 多彩なプログラムを通じて自然や環境について考える
 - ・季節や気候に応じた活動や釧路地方で体験できる活動など、様々な体験活動や学習テーマで、年間を通したプログラムとすることにより、自然や環境について多面的に捉えられるようにした。
- 身近な地域資源を活用することで、地域を担う人材育成を図る
 - ・学習テーマに応じて身近な地域資源を教材として活用し、参加者や保護者が地域の自然や環境、歴史について捉え、環境保全や自然体験への興味・関心や理解を深められるようにした。



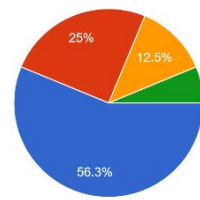
約 4,000 万年前の地層の上から



熱心に化石掘りに取り組む参加者

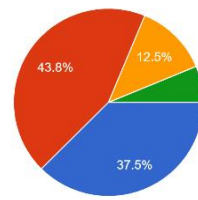
5 事業の評価

自然への興味・関心の高まり(参加者)



● とてもあてはまる
● あてはまる

環境保全への心がけ(参加者)



● 少しあてはまる
● ぜんぜんあてはまらない

■事後アンケート調査

- ・「自然への興味・関心の高まり」肯定的回答率 81.3%(参加者)
- ・「環境保全への心がけ」肯定的回答率 81.3%(参加者)
- 参加者の声
 - ・もっといろいろな自然を調べたいと思った。(参加者)
 - ・なかなか経験することのない体験を親子で楽しむことができた。(保護者)

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- 事業以外でも、再度、活動場所を訪れた参加者もいたことから、身近な地域資源を活用した自然体験活動が、自然や環境保全への関心につながったものと考えられる。
- 各学習テーマの関連を図り、個々の考えを交流する時間を設定するなどし、環境問題や環境保全について別の視点から考えられるような工夫をすることが必要である。

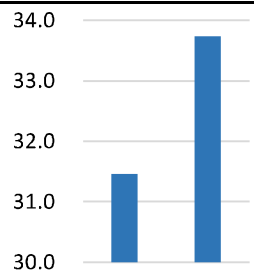
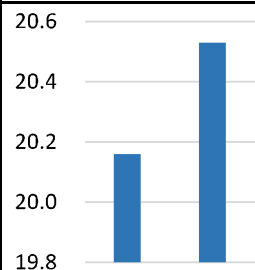
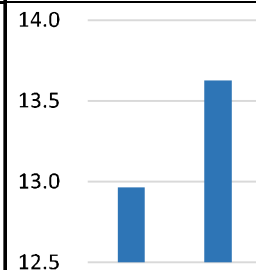
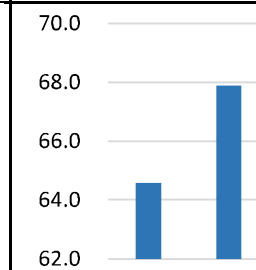


企画のポイント

身近な地域資源を用いた自然体験活動を通して、自然や環境に対する興味・関心を高める

本テーマにおけるIKR調査結果(実施した全施設を集計)

生きる力の向上	事前	64.6 点	→	事後	67.9 点	(+ 3.3 点)
---------	----	--------	---	----	--------	-----------

	①心理的社会的能力の変容	②徳育的能力の変容	③身体的能力の変容	①～③の合計 「生きる力」の変容
質問数・得点範囲	14問 (得点範囲14～84点)	8問 (得点範囲8～48点)	6問 (得点範囲6～36点)	28問 (得点範囲28～168点)
全有効回答の 総得点の平均値				
数値的推移	事前→事後 + 2.3	事前→事後 + 0.4	事前→事後 + 0.7	事前→事後 + 3.3

能力	調査項目	事前	事後	増減
生きる力(総合)		64.6	67.9	3.3
心理的社会的能力		31.5	33.7	2.3
非依存性	1. いやなことは、いやとはっきり言える	2.2	2.4	0.2
	15. 小さな失敗をおそれない	2.3	2.4	
積極性	11. 自分からすすんで何でもやる	2.3	2.5	0.4
	25. 前向きに物事を考えられる	2.2	2.5	
明朗性	5. だれにでも話しかけることができる	2.2	2.4	0.4
	19. 失敗しても立ち直るのがはやい	2.2	2.4	
交友・協調	7. 多くの人に好かれている	1.9	2.1	0.4
	21. だれとでも仲よくできる	2.4	2.6	
現実肯定	9. 自分のことが大好きである	2.0	2.1	0.1
	23. だれにでも、あいさつができる	2.6	2.6	
視野・判断	3. 先を見通して、自分で計画が立てられる	2.0	2.3	0.4
	17. 自分で問題点や課題を見つけることができる	2.3	2.4	
適応行動	8. 人の話をきちんと聞くことができる	2.5	2.6	0.2
	22. その場でふさわしい行動ができる	2.3	2.5	
徳育的能力		20.2	20.5	0.4
自己規制	14. 自分かつてな、わがままを言わない	2.4	2.4	0.0
	28. お金やモノのむだ使いをしない	2.6	2.6	
自然への関心	6. 花や風景などの美しいものに感動できる	2.4	2.4	0.1
	20. 季節の変化を感じることができる	2.7	2.7	
まじめ勤勉	12. いやがらずに、よく働く	2.4	2.6	0.2
	26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりやる	2.7	2.7	
思いやり	2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ	2.5	2.6	0.1
	16. 人の心の痛みがわかる	2.5	2.5	
身体的能力		13.0	13.6	0.7
日常的行動力	13. 早寝早起きである	2.3	2.3	0.2
	27. からだを動かしても、疲れにくい	2.1	2.2	
身体的耐性	4. 暑さや寒さに、まけない	2.2	2.3	0.2
	18. とても痛いケガをしても、がまんできる	2.2	2.4	
野外技能・生活	10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	2.3	2.5	0.3
	24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる	1.9	2.1	